

令和3年度 第3回小牧市地域協議会推進市民会議 会議録

1 開催日時 令和3年11月19日(金) 午後1時30分～午後3時10分

開催場所 小牧市役所 本庁舎6階 601会議室

2 出席者

(1) 推進市民会議委員 15名

(欠席：4名 [落合委員、水原委員、鳥居委員、吉田委員])

(2) 事務局 支え合い協働推進課：伊藤課長、岡田係長、丹羽主事

(3) 傍聴者 なし

3 会議資料

会議次第

資料 1 第2回会議で頂いたご意見とその修正案

資料 2 みんなで育てる地域の手引き

～あなたが主役の地域協議会マニュアル～

資料 3 「手引き」の利活用等に向けた意見交換シート

4 会議内容

1. 会長あいさつ

2. (仮称)地域協議会の手引き

(1) 第2回会議で頂いた意見の反映について

(2) (仮称)地域協議会の手引きの最終校正

3. 手引きの利活用に向けた意見交換

4. その他

【事務局】

お時間となりましたので、ただいまより令和3年度第3回小牧市地域協議会推進市民会議を開催させていただきます。

本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。
会に先立ちまして、皆さまにお願いです。

本日はこうして皆さまにご参集いただき、直接お話し合いをしていただける会議形式とさせていただきます。

こうした会議形式は昨年12月の推進市民会議から実に約1年ぶりとなります。

しかしながら未だに新型コロナウイルス感染症の脅威は去ったわけではなく、懸念されている第6波の影響を抑えるには、やはりマスクや手指消毒の徹底など、基本的な感染症対策が重要となります。

委員の皆さまにおかれましても、会議中のマスク着用を徹底していただくほか、会議室後方にフェイスガードをご用意しておりますので、必要に応じてご活用ください。

また、本会議は公開となっておりますが、ただいまのところ傍聴者はありません。

本日の出席委員は15名で、水原委員、落合委員、鳥居委員、吉田委員につきましては、ご欠席の連絡をいただいておりますので、併せてご報告をさせていただきます。

それでは次第にそって進めてまいります。

はじめに市民憲章につきましては、感染防止の観点から、わたくしが読み上げますので、心の中でご唱和いただくのみにしたいと思います。

わたくしたち小牧市民は、小牧を

1. 健康で生きがいのある明るいまちにしましょう。
1. 感謝と思いやりのあるあたたかいまちにしましょう。
1. 緑とやすらぎのある美しいまちにしましょう。
1. 高い文化と教養のある豊かなまちにしましょう。
1. 希望と働く喜びのある活気あふれるまちにしましょう。

ありがとうございました。

それでは議事に入りたいと思います。

次第の1「会長あいさつ」としまして、加藤会長からごあいさつをお願いいたします。

【加藤会長】

改めまして、こんにちは。

前回の対面会議が12月ということで、1年近くお会いできませんでした。

その間、事務局の計らいでオンライン形式での会議をやってきましたが、こうして集まって会議ができるというのは本当に素敵なことだなと感じています。

今日の会議が安全安心で実りある会議となるように私も心を砕きますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

本日はよろしくお願い致します。

【事務局】

ありがとうございました。

それでは、以後の司会進行は加藤会長にお願いしたいと思います。

よろしくお願い致します。

【加藤会長】

それでは、次第の2「(仮称)地域協議会の手引書」を議題とします。

「(1)第2回会議で頂いた意見の反映について」の説明を事務局に求めます。

[事務局より資料1、資料2に基づき説明]

【加藤会長】

ただいまの事務局の説明について、ご質問などありましたら挙手にてお知らせください。

安藤委員、どうぞ。

【安藤(智)委員】

資料2、40ページの「にわたりの会」について、ハイパーリンクで対応

されたとのことですが、QRコードも併記された方が紙媒体で見る方に見やすいと思います。

【加藤会長】

ありがとうございました。

ただいまの件について、事務局から回答をお願いします。

【事務局】

ありがとうございます。前回会議の最後にも少しお話しましたが、協議会会長以外にはデータ媒体での配布を検討していたことから、ハイパーリンクとしておりましたが、QRコードについても載せるようにしたいと思います。

【加藤会長】

ありがとうございます。私もそれが良いと思います。

他にご意見等ないようでしたら、次第2の(2)「(仮称)地域協議会の手引きの最終校正」に移りたいと思います。

前回会議でも事務局から説明がありましたが、手引きの内容については次年度以降も推進市民会議の場などで継続的に更新されていく、とのことです。

もし今回修正しておかなければならない、追加で記載する必要性が高いと思われる内容がありましたら、可能な限り、具体的な記載内容までお示しいただきますようご協力をお願いします。

それではご発言のある方は挙手にてお知らせください。

【山田委員】

質問ですが、P2の3行目やP5の6行目など、文中の一部分だけ赤字になっているのはどういう意味ですか。

【事務局】

すみません、こちらも先ほどの説明同様、修正箇所です。

「てにをは」や細かい表現等を見直したもので、資料1に記載していませんでしたが、前回からの修正箇所となります。

【安藤(和)委員】

全体を通してなのですが、表現がへりくだりすぎている部分がありまして、例えばP1でも「活動が続けられている団体」は「活動が続けている団体」でいいと思います。

そういう視点で一度、全体を見直していただきたい。

【伊藤委員】

偶然ですが、私もまったく同じことを思い、事前に資料を見直しさせてもらいましたので、後ほど、事務局と共有したいと思います。

それとP.22以降についているSDGsのロゴマークの数が少ないと思います。

17のパートナーシップはすべてに該当すると思いますし、他にも該当する目標/ゴールがあると思いますので、こちらも後ほど、事務局と共有したいと思います。

【大杉委員】

SDGsに関連してもう1つ。

私の周りの人もSDGsという言葉は何となく聞き覚えがあっても、中身がよくわからないという方がたくさんいらっしゃいます。

SDGsの概要をわかりやすく書いておいていただけると、手引きも読みやすくなると思います。

【事務局】

ありがとうございます。

全体的な表現について伊藤委員のご意見も参考にしながら見直しをかけていきたいと思います。

SDGs自体の説明については、P.21最下段に少しだけ枠を設けておりますので、ここに外務省のSDGs関連ページへのリンクを貼るようにしたいと思います。

【加藤会長】

他にご発言よろしいでしょうか。

【小柳委員】

皆様のご協力で本当にいい手引きができたと思います。

実際に協議会活動に携わっている身としては、こういった活動の手引きがあることが非常にありがたく、頼もしく思います。

皆様のおかげで非常に良い検討ができたと思います。

【加藤会長】

お褒めの言葉をいただきました。

他にご発言等ないようでしたら、いただいたご意見・ご提案に対する加筆・修正等は事務局に一任し、当会議での校正は完了としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【加藤会長】

では事務局で修正をしていただいて、この「地域の手引き」の初版は完成ということにしたいと思います。

皆さん、本当にご協力ありがとうございました。

では次に移りたいと思います。

次第の3「(仮称)地域協議会の手引きの利活用に向けた意見交換」を議題としたいと思います。

事務局から説明を求めます。

[事務局より資料3に基づき説明]

【加藤会長】

それではこれから手引きの利活用等に向けたアイデア出しのためのグループワークを行いたいと思います。

会議室後方にテーブルをご用意しておりますので、席次表に沿って移動をお願いします。

各テーブルにあるワークシートには、事前課題とさせていただいておりました3つのテーマ、「より多くの方に手引きを知ってもらうためのアイデア」「地域協議会で手引きを活用してもらうためのアイデア」「手引きの内容を更新/充実させていくためのアイデア」、それぞれに対応した枠

が設けられているかと思います。

こちらに皆さんが持ち寄っていただいた意見をテーマごとに色分けした付せんに書き込んでいただき、順番に記載内容を紹介しながら貼っていただきたいと思います。

それではまずは個人ワークになると思いますが、よろしくをお願いします。

(グループワーク)

【加藤会長】

時間になりましたので、一旦、手を止めていただいて、発表に移りたいと思います。

前方にホワイトボードを用意しましたので、こちらにワークシートとフリップボードを掲示していただき、検討いただいた内容と各テーマに対するおすすめのアイデアを発表いただきます。

発表は3分をお願いしたいと思いますので、全部を説明いただくには時間が足りないと思います。

いくつか要点をご説明いただいた後、フリップボードに記載のおすすめアイデアをお話いただくのがよろしいかと思います。

それではCグループからお願いしたいと思います。

【安藤(和)委員】

Cグループの発表を行います。

私たちはまず地域協議会そのもののPRを積極的に行うことを考えました。具体的には小牧市のホームページ内にある「リンク集」に地域協議会のページへのリンクを追加する、ページの内容の充実を行うなどの意見も出されましたが、最終的には地域活動団体等に地域協議会と手引きをPRしていくことをおすすめアイデアとしました。

また、PRにあたっては手引きの内容をプレゼンするためのパワーポイントを作成することで、わかりやすく、誰でも説明ができると考えました。

最後に手引きの充実に向けては、小牧市のサーバーを借用し、各地域協議会間の活動内容や資料データなどを共有できる「情報共有フォルダ」のようなものを立ち上げることで、協議会同士の横の連携ができ、活動の活性化、ひいては手引きの充実にもつながっていくと思いました。

発表は以上となります。

【加藤会長】

素晴らしい発表でした、時間も完璧です。

口頭で説明するのではなく、プレゼン用のパワーポイントを作成するというのはいいいアイデアですね。

では次はBチームです。

【舟橋委員】

Bグループの舟橋です。

最初の手引書を多くの方に知ってもらうためのアイデアとして、いろいろな意見が出たわけですが、最終的には地域協議会というものを知ってもらうためにロゴマークを作成し、旗などにして各種イベントで手引き共々PRしていくというようにまとめました。

次に、活用のためのアイデアとしては、手引きの内容を簡単にまとめた概要版を作成し、区長など、地域活動に携わっておられる方々に配布する、としました。

最後に、手引の更新と充実については、実施と運用の当事者である地域協議会の代表者会議と地域パートナーとして地域協議会の支援をされている職員の皆さんのレビューを含めた意見を汲み取ることも大切と考えました。以上です。

【加藤会長】

ありがとうございました、ロゴマークもいいですね。

ワークシートに書いてある「SNSでの発信」「公式LINEの開設」などもおもしろそうです。

では次はDグループ、お願いします。

【安藤(智)委員】

よろしく申し上げます。

Dグループで出た意見として、手引きを図書館などの公共施設を中心に色々なところに設置することや、イベント等でブースを設けるアイデアが出されましたが、最終的には「外国語版手引きの作成」ということをおすすめていただきたいと思います。

外国の方にもこれを読んで地域活動に積極的に参加してもらいたいということですが。

2番の活用のためのアイデアとしては役員への説明やSNS、またこちらでも概要版という意見も出ましたが、最終的に定期的な講座の開催ということになりました。

各協議会に対し、手引きの内容はこういうものでこういう様に使うことができるということを定期的に勉強できる機会を設けていただきたいと思います。

最後に3番ですが、これは広く市民の意見をもらうということにしました。

地域協議会の関係者からのみでなく、市民からこういう活動もしてほしい、こんな活動ができるんじゃないかという意見をいただければ手引きの内容もだんだん充実していくと思いました。

以上となります。

【加藤会長】

ありがとうございました。

見やすく色分けもされていて良いですね、発表も素晴らしい。

それでは最後、トリを飾っていただくAグループです。

一層大きな拍手をお願いします。

【新家委員】

では最後、Aグループの発表をさせていただきます。

1番について、多かったのが市の広報こまきの活用という意見、それから個人的に面白いと思ったのが地域協議会の愛称を付けるという意見でした。ただ効果的に周知をしていくための手がかりとして1つ、学校という意見が出まして、学校の持っているホームページや子どもたちが持ち帰るタブレット端末もヒントになると思いました。

前のグループの概要版や外国語版というのもここで使えると思います。

2番については。お披露目会を開催し、楽しく学ぶということにいたしました。

それから継続的に更新をかけていくのも大事ですが、何が更新されたのかを周知していくのも同じくらい大切だという意見が出まして、スマホで

更新内容が送られてきたりすると良いんじゃないかと思いました。

それから3番は、手引きの活用に関する実践例などを報告してもらう機会があると良いという意見が出ました。

やはり文字だけではイメージが湧かないので、今日もちょうど桃ヶ丘小地域協議会の活動の様子を写真付きでいただきましたが、こういうようにどこで何が行われているのかが視覚的にわかるといいなと思いました。

スマホやICTの利活用というところにスポットを当てて考えてみました、以上で発表を終わります。

【加藤会長】

素晴らしい、ありがとうございました。

では時間もありませんが、折角なので最後に伊藤先生から雑感、感じたことなどを一言、頂きたいと思いますが如何でしょうか。

【伊藤委員】

今現在、地域協議会は行政でもなく、地域でもなく、学校でもなく、自発的な集まりでもない、少し浮いた存在になってしまっていると思います。

本来はそこに地域課題などが持ち寄られて、そこからまた専門的な団体におろしていく、連携していくようなスタイルが良いのかなと思います。

そうしたときに愛称やロゴマークのようなものを作って、一体感を演出するというのは大切なことだと思いました。

それからリアルタイムな情報発信のためには、1回1回の発信量を小さくするというのも大事ですし、イベントであれば参加者に発信してもらうことも必要です。

他にもパワーポイントというアイデアが出されましたが、せっかくならその説明の様子を動画にしてもらって、Youtubeなどで流すようにすると、発信内容の質が担保されると思います。

いずれにしても、色々なところから情報の吸い上げがあるといいですね。

そのためには情報発信に対するフットワークの軽さ、例えばフェイスブックやインスタなどはすぐコメントができますし、写真中心ですので気軽に発信しやすく、そこに有志やイベント参加者に対して「ちょっと発信してってよ！」と言って回るくらいの図々しさがあってもいいんじゃないかと思いました。以上です。

【加藤会長】

無茶ぶりにもかかわらず、素敵なまとめをしてくださり、ありがとうございました。

概要版というアイデアが2グループからありましたが、いきなりこの分厚い手引きを持っていくのではなく、ダイジェストで手引きの概要がわかるというのはとても良いアイデアです。

そうすれば外国語版というのも作りやすいと思いますし、外国の方にも仲間になっていただき、一緒に地域のことを考え、作っていけるというのはとても素敵なことだと思います。

それから、これはどこのまちでも言ってるわけではなく、小牧市のこの会議は本当に良い会議です。たかだか30分のワークでこれだけの意見が出てくるのもそうですし、それを受けた市職員の皆さんがきちんと意見を反映してくれている、こういうまちって中々ないです。

そういう意味でも今日の素敵な仲間、グループの皆さん同士で心からの拍手を送り合ってこのワークは終了にしたいと思います。

本日はお疲れ様でした、それでは次第の3「その他」として、事務局より事務連絡等お願いします。

【事務局】

それでは、その他としまして、次回の会議日程等についてご説明いたします。

時期としましては記載のとおり、年明け2月頃を予定しておりますが、今後の社会情勢如何では集まっての会議開催が難しい場合もございます。

場合によっては再びオンライン会議になる可能性もございますが、いずれにしましても追ってご連絡するようにいたします。

以上です。

【加藤会長】

ありがとうございました。

これで次第にあります議事は全部終了いたしました。

進行を事務局にお戻しします。

【事務局】

加藤先生、ありがとうございました。

委員の皆さまにも活発にご議論いただき、多くの貴重なご意見を頂戴することができました。

この手引きが各地域協議会で大いに活用され、活動がさらに活性化していくことになれば、市としても大変うれしく、また頼もしいことと思っております。

冒頭にも申し上げましたが、新型コロナウイルス感染症は未だ終息には至らず、次回の会議もこうして皆さんと膝を突き合わせての話し合いができるとは限りませんが、Web会議なども積極的に活用しながら、コロナ禍においても効果的な議論ができるよう工夫してまいりますので、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

これで第3回地域協議会推進市民会議を閉会します。